

石川県環境総合計画の改定

カーボンニュートラルの実現に向けた本県の状況（本年9月）

- 2050年カーボンニュートラルを宣言
- ふるさと石川の環境を守り育てる条例を改正
カーボンニュートラルの実現に向けて、これまで以上に、県、市町、関係団体等が連携して取り組んでいくことを明記
- 石川県環境総合計画を改定

長期目標

2050年までに県内の温室効果ガス排出量の**実質ゼロ**
（カーボンニュートラル）を目指す

中期目標

2030年度の温室効果ガス排出量を**50%削減**（2013年度比）

－取組の方向性－

- ◆全国に比べて家庭・運輸部門の温室効果ガスの排出割合が高いという**本県の特徴を踏まえた取組を推進**し、温室効果ガスの削減を加速化

部門	課題	対応
家庭	太陽光発電の設置率が低い （日照時間が短いイメージが先行） 省エネ住宅の建設コストが高む （寒冷地等で高い断熱性能が必要）	住宅の省エネ・創エネ化の促進 ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）等の導入支援
運輸	世帯あたりの自動車保有台数が多い	環境配慮型の自動車の普及促進 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、 燃料電池自動車の導入支援

- ◆県庁の率先行動：2030年度温室効果ガス排出量を、国(50%)を上回る
60%削減（太陽光発電の導入、照明のLED化、環境配慮車の導入など）



燃料電池自動車